

経営比較分析表（平成28年度決算）

鳥取県 琴浦町

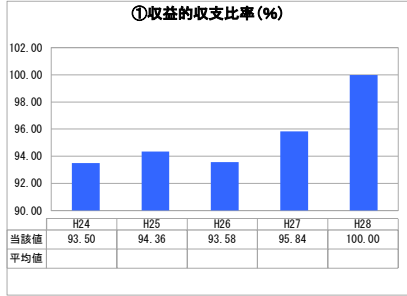
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	29.40	100.00	3,780

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,002	139.97	128.61
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,254	2.31	2,274.46

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



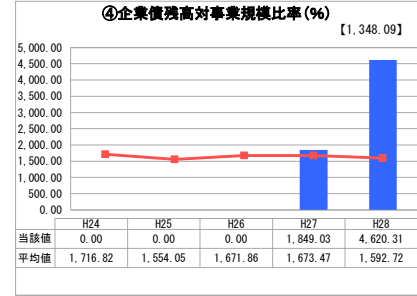
「単年度の収支」



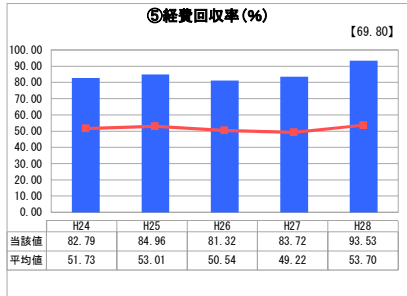
「累積欠損」



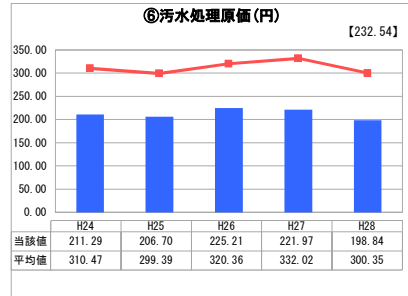
「支払能力」



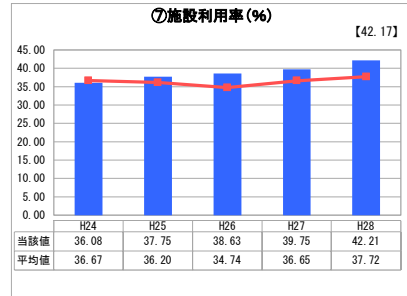
「債務残高」



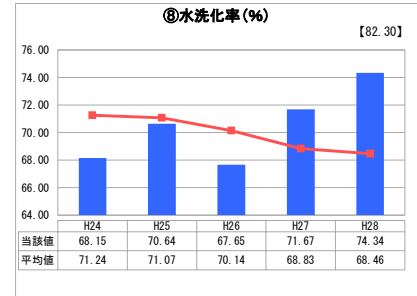
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

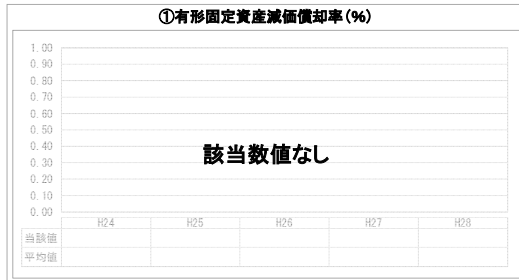


「施設の効率性」

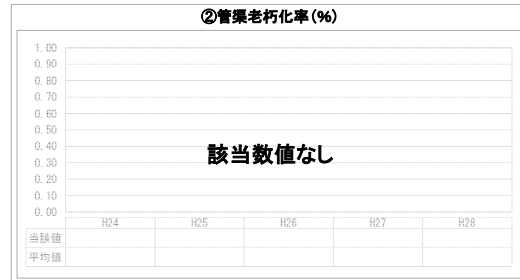


「使用料対象の捕捉」

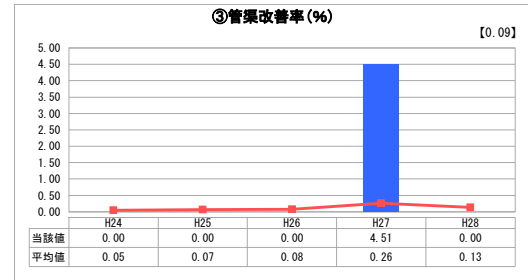
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、下水道整備の進展に伴う使用料収入の増に伴い100%となった。
経費回収率は、使用料収入の増に伴い増加傾向にあるが、100%を割り込んでいるため経営改善の必要がある。
下水道整備の進展に伴い接続人口が増加し、処理場への流入流量が増加している。これが水洗化率及び施設利用率を向上させ、1㎡あたりの処理単価が低下につながる要因となっている。

2. 老朽化の状況について

供用開始は平成14年度であり管渠の計画的な更新は行っていない。処理施設は長寿命化計画のもとに老朽化または耐用年数を迎える設備を順次更新する計画である。
今後はストックマネジメント計画を策定し、維持修繕基準のもとに計画的な点検、調査、更新を行う。

全体総括

下水道整備の進展に伴い、水洗化率は増加傾向にあるものの、更なる水洗化率向上のため未接続世帯に対する接続促進の取り組みを行い使用料収入の増加を図る必要がある。
維持管理コストを低下させるため、契約、物品購入、汚泥処理などを見直し費用の削減に努めるとともに、施設の計画的な点検、調査、更新を行いライフサイクルコストを最小化する取り組みが必要となる。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。